

らに県道36号線の喜仲・豊原区間が開通したことにより、国際的な流通加工拠点として今後ますます整備が図られるものと期待しております。

企業誘致については、中城湾港新港地区において、沖縄県が整備した賃貸工場を中心に企業進出が進み、金型産業も徐々に集積してきています。沖縄IT津梁パークにおいても15社が入居し、現在整備が進められている民間IT施設には本年6月頃、約500名の雇用が見込まれています。

また、うるま市IT事業支援センターでは新たに2社が入居するなど、今後ますます企業立地と雇用促進が図られることが期待されます。第1次産業の活性化については、本市の豊かな農水産物の販路拡大を図るため、農水産物マーケティング調査事業に取り組みました。

さて昨年を振り返りますと、3月11日に発生した東日本大震災があります。本市としては、被災地に保健師、消防職員及び車両を派遣し、義援金として1千万円の寄付を行うとともに、災害用備蓄毛布をはじめ市民から寄せられた物資を提供し、被災地の方々への救援・支援に取り組ましました。

また、これまで友好交流を行ってきた岩手県盛岡市に対しては、うるま市商工会及び観光物産協会と連携

し、「東日本大震災岩手盛岡支援連絡協議会」を立ち上げ、日用品などの支援物資を提供しました。市民や民間団体からの義援金も3千万円を超え、「チムグクル」・「ユイマイル」精神があらわれた結果であり、市民の皆さまに厚くお礼申し上げます。また、被災地における一日も早い復旧・復興を願います。

本市においては、昨年3月に待望の新消防庁舎が完成し、市民の暮らしを守る新たな拠点として、安心・安全なまちづくりの推進に期待を寄せております。

また、10月には第5回世界のウチナンチュ大会に併せて、「世界のうるまんちゅ歓迎会」を開催し、アメリカ・ハワイをはじめ世界6か国から約260人が参加し交流を深めるとともに、「うるまんちゅ」としての絆を再認識しました。

さて、日本国内の情勢に目を向けますと、福島第一原子力発電所の事故に端を発したエネルギー政策や電力供給の問題、欧州債務問題による円高、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)への参加交渉、社会保障と税の一体改革に関する議論が開始されるなど、国の将来を左右する懸案事項が待ったなしの状態となっております。

平成24年度は、沖縄県の本土復帰40周年であると同時に「沖縄21世紀

ビジョン基本計画(仮称)」と新たな沖縄振興の制度、そして沖縄振興一括交付金(仮称)がスタートする節目の年であります。県主体の計画として策定された「沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)」を軸に、沖縄振興に向けた「ジンブン」と実行力が問われる重要な年であります。

沖縄振興特別推進交付金(仮称)については、これから定められる交付金網を踏まえ、沖縄振興に資する事業に活用し、本市の地域活性化に十二分に生かしてまいります。

また、新たに創設される沖縄振興制度では、「国際物流拠点産業集積地域(仮称)」や「産業高度化・事業革新促進地域(仮称)」、「観光地形成促進地域(仮称)」などがあり、それらの制度を生かした地域振興に努めます。

本年度は、うるま市総合計画後期基本計画の初年度であり、「市民協働のまちづくり」、「市民の安心安全な暮らしの実現」、「地域の特色を生かした活性化」、そして「明日を担う人材の育成」をまちづくりの重要課題として位置づけ、各施策を推進してまいります。

平成24年は辰年であり、昇り龍の如く「飛躍・発展」の年と言われたいです。これまでの市政運営がさらに実を結び、市民が希望と活力にあふれた地域づくりを進めることが、市長としての私の使命であります。

まちづくりには市民の皆さまをはじめ、自治会などの地域組織や関係団体、民間事業者、そして市議会など、多くの方々の連携と参画が何よりも重要であります。私は、本年度も「うるま市はひとつ・市民協働のまちづくり」に向け、全力で市政運営に取り組み所存であります。

平成24年度の予算規模

平成24年度の予算編成については、うるま市総合計画及び実施計画、また、枠配分方式による予算編成を基本に、限られた財源を効果的に活用すべく予算編成に努めました。

その結果、本年度の一般会計予算は、449億7,489万3千円となり、前年度に比べ4.0%の増となっております。

また、特別会計予算は、国民健康保険が175億3,753万9千円、後期高齢者医療が7億6,027万9千円、介護保険が78億4,551万3千円、公共下水道事業が24億5,011万2千円、農業集落排水事業が1,610万9千円で、公営企業の水道事業会計予算は、32億3,540万2千円となっております。

従いまして、本市の総予算規模は、一般会計、特別会計及び水道事業会計を合わせた768億1,984万7千円であります。